



健 康 ガイ

問 健康推進課(佐屋保健センター)
☎(28)5833

定期の予防接種の種類	対象	接種場所	接種回数/自己負担	備考
高齢者インフルエンザ	①満65歳以上の方 ②満60歳以上65歳未満の方で、心臓、腎臓、呼吸器に障害のある方(身体障害者手帳1級程度)またはヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に障害のある方	愛西市、津島市、弥富市、あま市、海部郡の指定医療機関	1回/1,200円	【接種期間】 令和8年1月31日(土)まで ・予診票などの個人通知はしません。 ・詳しい内容は、広報と同時配布の「高齢者インフルエンザ予防接種のお知らせ」および「高齢者新型コロナウイルス感染症予防接種のお知らせ」をご覧ください。
高齢者新型コロナウイルス感染症			1回/4,000円	
高齢者肺炎球菌	①満65歳の方 ②満60歳以上65歳未満の方で、心臓、腎臓、呼吸器に障害のある方(身体障害者手帳1級程度)またはヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に障害のある方	愛西市、津島市、弥富市、あま市、海部郡の指定医療機関	1回	①65歳到達月の翌月当初に個人通知します。自己負担金については、通知をご覧ください。 ②事前に手続きが必要です。健康推進課へお問い合わせください。 ※過去に接種したことのある方は、対象外
高齢者帯状疱疹予防接種	①年度内に65歳を迎える方 ②60歳以上65歳未満の方で、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害のある方 ③【令和7年度から11年度までの経過措置】 年度内に70・75・80・85・90・95・100歳以上となる方		⑦生ワクチン 「ビケン」：1回 ⑧組換えワクチン 「シングリックス」：2回 ※⑦、⑧いずれか一方	定期接種の対象として接種できるのは生涯1度限りです。①のワクチンの場合、1回目を令和8年1月31日までに接種する必要があります。 ①③の対象者に個人通知をしています。自己負担金については、通知をご覧ください。 ②の対象者は事前に手続きが必要です。健康推進課へお問い合わせください。 詳細は市ホームページをご覧ください。
HPV感染症ワクチン(子宮頸がんワクチン)	①小学校6年生から高校1年生相当の女子 ②平成9年4月2日から平成21年4月1日生まれの女子かつ、令和4年4月1日から令和7年3月31日までにHPVワクチンを1回以上接種している方で、接種が完了していない方		2回または3回	対象者は無料で接種できます。 ※対象②に該当される方は接種期限が令和8年3月31日まで延長されました。 詳細は市ホームページをご覧ください。

愛知県広域予防接種について

予防接種について、疾病や里帰りなどの事情がある場合、海部・津島地区以外の医療機関(愛知県内の広域予防接種協力医療機関)で接種することができます。事前に手続きが必要となりますので、健康推進課へお問い合わせください。

大人の風しんワクチン接種費用の助成について

市内在住で、妊娠を予定または希望している女性(妊娠中の方を除く)で、抗体価が低いと判定された方に対し、風しんワクチンまたは麻しん風しん混合ワクチンの接種費用の一部を助成します。

なお、風しんの抗体検査は、愛知県が費用助成を行っています。(ただし、対象者に条件があります。)



特別の理由による任意予防接種費用の助成について

骨髄移植手術などにより、接種済みの定期予防接種の予防効果が期待できないと医師に判断された方に対して、再接種にかかる費用の助成をしています。再接種の前に健康推進課で手続きが必要です。

歯と口の健康講座

オーラルフレイルについて

高齢期になると他者との交流が少なくなることが多く、容姿に気を使うことも少なくなつて口腔の健康への意識も低下し、歯科疾患の予防を目的とした定期的な歯科受診をやめてしまつたり、セルフケアもおろそかになつたりする高齢者は多いと思われます。

痛みがあれば歯科を受診しようとを考えているものの、実際に噛めなくなつたり歯がしみたりしても、これくらいは年

のせいたと諦めて放置してしまい、むし歯や歯周病が悪化してしまうこともあります。悪化すると硬い物や繊維質の物が食べにくくなる為、それらの食品を食べなくなつたり容姿や口臭などを意識して、大きく口を開けて会話することをさけたりするようになります。

口腔は会話や食事で毎日使うので、その機能が低下することは少ないと思われがちですが、このような悪い方向への

流れがオーラルフレイルと呼ばれます。

口腔機能が徐々に低下し、口のささいなトラブル(滑舌低下、噛めない食品の増加、むせ等)が生じているにもかかわらず放置してしまうと食欲低下にもつながり、咬合力低下、舌運動機能低下、低栄養、サルコペニア(加齢による筋肉量の減少及び筋力の低下)のリスクが高まり、最終的に生活機能障害に至ります。

歯と口の健康を末永く続けるために、日頃のお手入れと歯科受診を心がけましょう。

(海部歯科医師会)

